

平成29年第14回弘前市教育委員会会議録

日時 平成29年9月29日(金)

午後2時30分

場所 岩木庁舎2階 会議室3

◇議事日程

- 1 定足数確認
- 2 開会宣告
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会期決定
- 5 議案の審議

議案第24号 史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員の委嘱について

- 6 閉会宣告

◇付議事件

議事日程に同じ

◇出席委員

1番 九戸 眞樹 委員、2番 前田 幸子 委員、3番 澤田 美彦 委員、
4番 佐々木 健 委員、5番 高木 恵美子 委員

◇説明のため出席した者の職氏名

理事兼学校教育推進監 奈良岡 淳、教育政策課長 鳴海 誠、学校づくり推進課長
三上 善仁、学務健康課長 中田 和人、学校指導課長 木村 文宣、教育センター
所長 石川 みどり、生涯学習課長 戸沢 春次、博物館長 佐々木 健一、文化財
課長 成田 正彦

◇出席事務局職員

教育政策課長補佐 福士 智広、教育政策課総務係長 鳴海 貴幸

午後2時30分 開会

○委員長（九戸眞樹委員） これより、平成29年第14回弘前市教育委員会会議を開会いたします。ただ今の出席者数は5名で定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。会議録署名者に4番 佐々木 健 委員と5番 高木 恵美子 委員を指名いたします。会期は本日1日といたしたいと思いますがいかがでしょうか。（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認め、会期は本日1日といたします。本日の案件は、議案が1件となっております。

・議案第24号について

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、議案第24号史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○文化財課長（成田正彦） 議案第24号史跡大森勝山遺跡整備指導委員会委員の委嘱についてご説明します。提案理由は、委員の任期満了に伴い、弘前市附属機関設置条例第3条の規定により、新たに委員を委嘱しようとするものであります。

委嘱する委員は5名であり、学識経験のある者が4名と地元町会を代表する者が1名となっております。委嘱の期間は委嘱の日から2年となっております。

委員の定数は8名となっており、今回は5名の委員を任命するものとなります。指導委員会委員の職務についてですが、大森勝山遺跡の整備について各関係分野の専門家により専門的な指導を行う機関となっております。

少しこれまでの経緯を説明をいたします。

大森勝山遺跡は、平成24年に国の史跡指定を受けたものです。その年に世界遺産の登録を進めていた縄文遺跡群の枠に参加しまして、保存管理計画を策定してきたところ です。

平成26年に、史跡の保存活用のあり方の基本をまとめた保存管理計画が策定されました。

その後、平成27年度から次のステップとして整備計画の策定を進め、この年から指導委員会を立ち上げたものです。27年は3回、28年も3回委員会を開催しております。28年度の会議の中身としては、この整備計画に基づいて、設計の中身をつめるという事で、上に何センチ盛土をすればよいのかとか、遺構をどのように表現すればよいのかなど中身の指導を受けたものです。

委員について、工藤竹久氏は元八戸市博物館館長、岡田康博氏は県の職員で元文化庁の調査官を勤めた方、関根達人氏は、弘前大学の教授、岩瀬直樹氏はみどりの協会

の職員で樹木医でございます。須藤司さんは大貝町会の町会長という事で地域を代表しているものです。

弘前市附属機関の設置及び運営に関する指針において、女性を40パーセント以上という規定がされておりますが、色々捜してはみたのですが、中々女性でこの分野を専門で指導していただける適任者がいなかったことから、男性のみとなっております。

また、重複の専門委員は四つまでとなっておりますが、3番目の関根達人氏は、既に五つの委員を務めておられて、この大森勝山遺跡を含めると六つという事になります。弘前城関係で三つ、市の当課の文化財審議委員、それと堀越の委員を務めておられます。関根氏は、北日本考古学における第一線の研究者であり、縄文時代晩期の研究領域をもっておられます。遺跡の価値を高め、整備との整合性を計る指導をしていただく上では適任者であるという事で重複してしまいましたが、この方を任命したいと考えております。

また、委員は公募するようとなっておりますが、やはり高度な専門的知識のもと指導をするという機関でありますので、委員の公募は馴染まないという事になっております。

委員の定数について、定数8人に対して5人になっています。今後整備していくにあたって、例えば環状列石についての専門家とか、ガイダンス施設の専門的知識を持っている適任者がいた場合には、補充をしていきたいと考えており、現時点では5名の委員で進めたいと思っております。以上です。

- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの説明に対しましてご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 備考欄の植生ということについて、具体的に教えていただきたいのと、説明の中で世界遺産登録の実現に向けて、ステージを上げていくという話をしていましたので、今までのメンバーに、更に凄い方を8名までよいのですから、そのような人がいてその方を入れれば更に世界遺産がすぐ目の前にくるのか、それとも今のメンバー以上の方はいないのか、その辺を少しお話しいただければと思います。
- 文化財課長（成田正彦） まず岩瀬直樹氏の植生の件ですが、縄文時代の植生を復元していくという部分もありますので、現在の植生とどう合わせていくのかという所での指導を頂くことを予定しております。

世界遺産の関係ですが、この委員会は世界遺産を目指すと言うよりは、世界遺産はあくまで県が本部を努めている、世界遺産の縄文遺跡の委員会がありますので、そちらの方で取りまとめてもらうこととして、この委員会は、大森勝山遺跡の整備をどのような形で進めるのかという観点で進めて、現時点ではこの5名の方で進めるのが適任であろうと考えております。以上です。

- 2番（前田幸子委員） 適した方はもう1名くらい、頭にはないでしょうか。
- 文化財課長（成田正彦） それぞれ第一人者の方が揃っておりますので、無理があるか

と感じております。もし加えるとしても、別の分野でストーンサークルについて特に詳しい方とか、また考古学の人に加わると逆にまとまらなくなる可能性があると思います。

○2番（前田幸子委員） 分かりました。

○1番（九戸眞樹委員） 整備指導ということですが、遺跡の何かを建てたり、何か見学するソフト的な部分を考えると、この遺跡に限定的な委員会なのでしょうか。

○文化財課長（成田正彦） 整備の中身としては、遺跡そのものの整備もありますし、それに付随する休息施設とかガイダンス施設もありますので、それについても今後、整備委員会の中で検討することになりますので、その辺のガイダンスについて特に詳しい方、指導していただける方は、今後増やしていきたいと考えています。

○委員長（九戸眞樹委員） ほかにご質疑等ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） それでは議案第24号を可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議がないものと認めます。よって、議案第24号は可決されました。

○委員長（九戸眞樹委員） 以上で、本日の会議に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。これをもちまして、平成29年第14回弘前市教育委員会会議を閉会いたします。

午後2時50分閉会

会議録作成者

弘前市教育委員会

教育政策課総務係長 鳴海 貴幸

弘前市教育委員会

委員長 九 戸 眞 樹

署名者 佐 々 木 健

署名者 高 木 恵 美 子